

類別：機械器具（01）手術台及び治療台

一般医療機器 一般の名称：汎用電動式手術台 JMDNコード：36867020

特定保守管理医療機器

販売名：電動油圧手術台 MOT-1602BW

【警告】

1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、又はアクセサリで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
2. 他社製アクセサリ等を取り付けて使用する時は、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

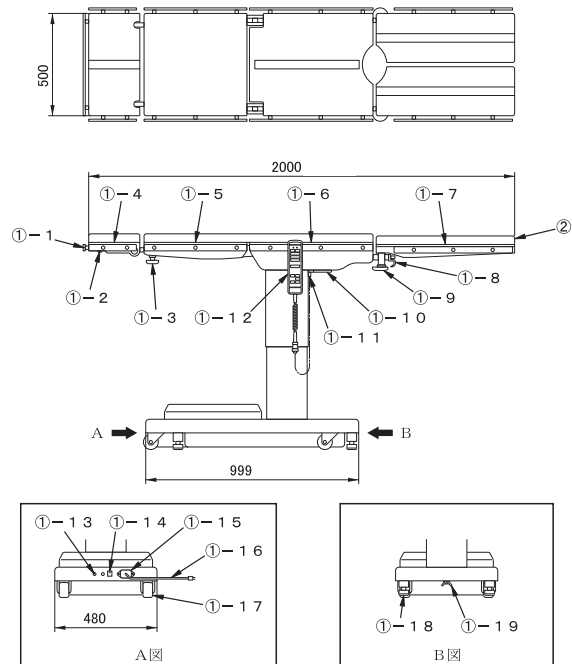
【禁忌・禁止】

1. 手術台の移動及び設置
手術台を移動及び設置するときは、次の事項をしないこと。[転倒するおそれがあります。]
1-1 凹凸のある床面に設置すること。
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれること。
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除すること。
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすことがあります。]
3. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスに衝撃を与えたり、コード部分を無理に引っ張ったりしないこと。[操作ボックスが破損して操作ができなくなります。]
4. テーブルトップの手動操作部
4-1 頭部板や脚板の上には乗ったり座ったりしないこと。[転倒又は破損するおそれがあります。]
4-2 患者をベッドから移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]
5. 改造の禁止
手術台を分解又は改造しないこと。[故障の原因となります。]
6. 手術台に患者を乗せるとき
頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[転倒又は脚板が破損するおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

* 1. 外観図

単位：mm

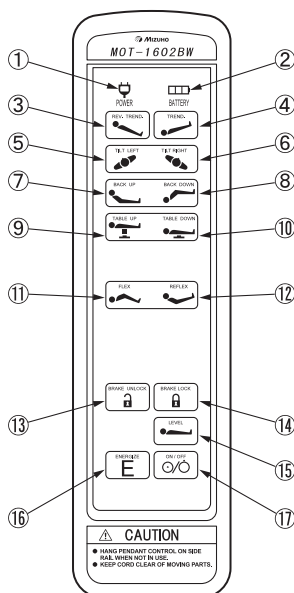


①-1	サイドレール	①-11	操作ボックスコネクタ
①-2	頭部板屈折レバー	①-12	操作ボックス
①-3	頭部板固定ハンドル	①-13	ヒューズホルダー
①-4	頭部板	①-14	主電源スイッチ
①-5	背板	①-15	電源用コネクタ
①-6	腰板	①-16	電源コード
①-7	脚板	①-17	キャスター
①-8	脚板屈折レバー	①-18	ブレーキ
①-9	脚板固定ハンドル	①-19	非常用ブレーキ解除ハンドル
①-10	テーブル固定ハンドル	②	マットレス

注1：番号は1. 外観図の番号に対応

注2：テーブルトップとは①-4、5、6、7の総称

取扱説明書を必ずご参照ください。



- ① パワーランプ
- ② バッテリーインジケータ
- ③ 縦転 : 頭上がり
- ④ 縦転 : 頭下がり
- ⑤ 横転 : 左下がり
- ⑥ 横転 : 右下がり
- ⑦ 背板屈折 : 上がり
- ⑧ 背板屈折 : 下がり
- ⑨ 昇降 : 上昇
- ⑩ 昇降 : 下降
- ⑪ フレックス
- ⑫ 逆フレックス
- ⑬ ブレーキ解除
- ⑭ 手術台固定
- ⑮ 水平復帰
- ⑯ E スイッチ
- ⑰ 電源 ON/OFF スイッチ

18-261-20: MOT-1602BW (ASIA)

18-261-22: MOT-1602BW (ASIA) 120V

* 18-261-25: MOT-1602BW (ASIA) 220V-240V

日本製

18-261-30: MOT-1602BW (EU)

4. バッテリー充電のしかた

* 4-1 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込み
主電源スイッチ、操作ボックスのON/OFFスイッチを
ONにします。

4-2 充電中、操作ボックスのバッテリーインジケータが点灯
します。

4-3 充電が完了すると操作ボックスのバッテリーインジケータ
が全部点灯します。

【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

1. 警告

- * ① 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では
器機が動いて、患者に障害がおきることがあります。
- * ② 併用する機器やアクセサリを使用するときは、当該機器
の添付文書又は取扱説明書を読んで影響を確認してくださ
い。誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機
器やアクセサリに悪影響を及ぼします。

2. 注意

- * ① 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が
発生することがあります。
- * ② 手術台の操作中や、屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を
入れないでください。怪我をするおそれがあります。
- ③ 非常用ブレーキ解除ハンドルを回したら、必ず下記の操作
を行ってください。手術台を固定できません。
- ③-1 非常用ブレーキ解除ハンドルを LOCK 方向に回す。
- ③-2 操作ボックスでブレーキ解除の操作を実施する。
- ④ 非常用ブレーキ解除ハンドルを UNLOCK の状態で、縦転・横
転などの機能を操作しないで下さい。テーブルトップが作
動して、患者が転落するおそれがあります。
- * ⑤ 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短
時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣
化が早まる可能性がありますので週 1 回充電（週末の充
電）を行ってください。

充電満了まで最長で 24 時間程度掛かります。

- ⑥ 手術台使用後に手術台下部の充電ランプが点灯している場
合は、直ちに充電を行ってください。
- 充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリ
ーでご使用はできなくなります。

* 【保管方法及び有効期間等】

* 1. 保管環境

周囲温度範囲 : -30℃～70℃

相対湿度範囲 : 20%～80% (結露なし)

気圧範囲 : 500hPa～1060hPa

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10年（注）

[自己認証（弊社データ）による]

注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突
発的な故障、部品（マットレスを含む）の著しい消耗・劣
化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造
期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部
品供給による交換ができなくなる場合があります。

3. 定期交換部品

部品名	交換時期(注)
バッテリー	2～3年
操作ボックス	4～6年
キャスター	5～7年
ブレーキゴム	3～5年
電源コード	5～7年

注：上記は目安の期間です。

使用条件により交換時期が変わります。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清
掃・消毒を実施してください。

1. 使用前の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損がないか。
- ③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。
- ④ 電源コード及び電源プラグ
電源コード導線の露出又は電源プラグの破損がないか。
- ⑤ バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。
- ⑥ 電源スイッチ
電源スイッチを ON にして、操作ボックスのパワーランプが
点灯するか。
- ⑦ 操作ボックス
操作ボックスのスイッチを押して、すべての機能が正常に
作動するか。
- ⑧ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2. 使用後の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損又は汚れがないか。
- ③ 油漏れ
床又は手術台に作動油が付着していないか。

取扱説明書を必ずご参照ください。

3. 清掃・消毒の手順

- 3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
- 3-2 使用する消毒剤の表示又は説明書の内容を確認してください。
- 3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭してください。

4. 故障時のお願い

本装置が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

- 4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
- 4-2 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

<業者による保守点検事項>

本装置を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年1回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守・点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。

定期点検を希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社 千葉工場

* 【保証期間に係る事項】

本品は納品/設置してから1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。